

やまたらけ

YAMADARAKE

APRIL
No. 22
2007

桜といえば、ソメイヨシノが一般的で、開花予想の基準にもなっています。ソメイヨシノは江戸末期から明治初期に、野生種であるエドヒガンなどをもとに作られた園芸種であり、その後全国各地に爆発的に広まりました。花が葉より先に咲くことや、大きく整った薄紅色の花が密生して全体を覆う美しさから、花見などにもよく使われます。

しかしソメイヨシノ以外にも桜は多く、特に山間部では、もともと日本に自生する野生種が多く存在します。早川町内では、ソメイヨシノのほか、エドヒガン、イトザクラ（シダレザクラ）、ヤマザクラ、サトザクラなどが見られ、それぞれに独特の美しさがあります。また標高差により開花時期が少しずつずれているので、1週間おきに場所を変えて満開の桜の下で花見をするといった楽しみ方もできます。

南アルプスの険しい山々を背に、力強く咲く桜を、間近に見たり、遠方に眺めたりしながら、多種多様の桜の違いを比べることや、背景の山との調和を楽しむこともまた、花見の醍醐味といえるのではないのでしょうか。今月は早川での桜の楽しみ方を、みどころと共に紹介します。（遊佐敏彦）

写真：交流促進センター前の桜（栗袋集落）。もともとは早川南中学校でした。現在ここには編集部の事務所があります。

早川桜前線北上中！

4/18
桜を見ながら湯に浸かる
西山農園・湯島の湯

平成16年から営業を開始した「西山農園・湯島の湯」。日替わりで楽しめる3種の露天風呂は、全て源泉100%かけ流し。浴槽の周辺に植わっている桜は温泉ができる前から元々あった。それらを残すように、浴槽を配置したため、自然と一体になって安らげる、開放感に溢れた庭園調の造りになっている。

4/20
桜前線最北端
奈良田の里駐車場



町内で最も遅く開花する町内最北の集落、奈良田。ここ外良寺駐車場の桜もまた趣があり、数こそ少ないが、静かな春を感じることができ。対岸の険しい山の中腹に、点在する山桜がまた別の味わいを出す。



早川桜見どころガイド

4/15
一面の桜吹雪
ヘルシー美里グラウンド

「光源の里温泉・ヘルシー美里」正面のグラウンド。ここは温泉・宿泊施設で、毎年11月中旬に行われる「早川そばまつり」の会場でもある。そのため秋に訪れる人は多いが、実はここ、桜の名所であることは余り知られていない。グラウンドを囲む一面の桜吹雪は、一見の価値あり。



4月中旬
三里地区の花見スポット
大塩の滝入り口



4月上旬
観光客をお出迎え
南アルプスプラザ前



4/8
古刹の歴史とともに
保集落・朝晨庵

保集落の一番高い場所に位置する「朝晨庵(ちようしんあん)」。その境内に咲く大きな桜。くねくねとした道を登らなくてはならないが、桜の木の下に立つと、ここが特別な場所であるというのを感じさせてくれる。桜の下に立って見下ろした保集落の眺望もまた見どころの一つ。見ることと見られること、その立場の変化を感じられれば、この桜をより深く味わうことができるだろう。



3月末
早川の初桜
夏秋集落入り口



4/10
石畳とよく似合う
赤沢宿・妙福寺



夏秋(なつあけ)集落にある日蓮宗の学定寺は約三五〇年の歴史を持つ。その境内に集落を見守るようにたたずんでいるのが「学定寺のイトザクラ」だ。イトザクラは寺院や神社などに植えられることが多く、身延周辺でも良く見られる。その中でも、この「学定寺のイトザクラ」は、幹の太さ約4m、樹高約12mという巨樹で、昭和51年に早川町の天然記念物に指定されている名木である。

4/10
ここ赤沢集落は、中世の頃から、聖地身延山と霊場七面山を結ぶ「参道の宿場」として知られていた。



▲赤沢公民館前



4/8
山一面がピンクに染まる
県道井川雨畑線

南アルプス街道から県道井川雨畑線に入っただけで、山一面に広がるヤマザクラを見ることが出来る。誰もが植えたわけでもない。もちろん、名木や巨木もない。しかし、山全体がピンク色に染まる景色は、あまりにも爽やかで見ると、心が癒されてくる。これはまさに、自然が育んだ、早川町自慢の風景だ。



巡礼街道をゆく／前編(初心者向き)
身延山久遠寺と赤沢宿ウォーキング

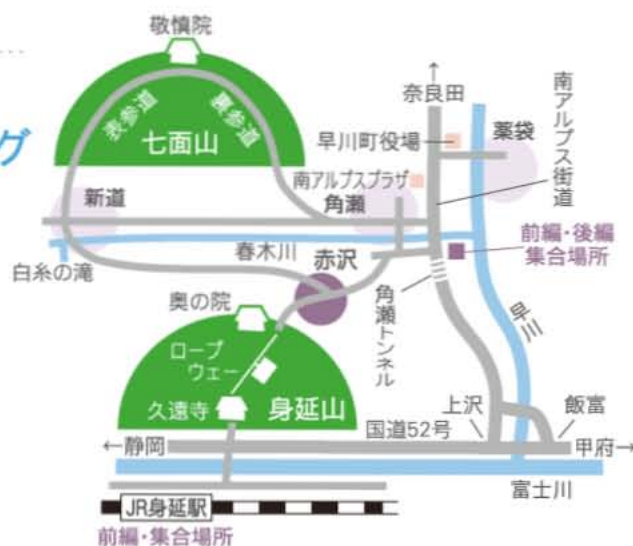
5/13



～申込先～
やまだらけ編集部 ☎0556-45-2160

新緑の美しい5月。身延山から赤沢宿までの巡礼の道を、ウォーキングしませんか。比較的歩きやすいコースなので、登山には自信のない方も、お気軽にご参加ください。

集合場所／角瀬トンネル横広場、またはJR身延駅
時間／角瀬トンネル9:00、またはJR身延駅9:30～15:00
参加費／会員3,000円・非会員3,400円(昼食代、ロープウェイ代込み)
定員／20名(要申込、締切5月7日、定員に達し次第締切)
持ち物／飲み物、雨具、歩きやすい格好で
内容／ロープウェイで身延山に登り、赤沢宿まで新緑の中をウォーキング。途中、久遠寺でお話を聞いたり、赤沢宿の散策も。
備考／雨天でもロープウェイが動いていれば決行します。



5/20 巡礼街道をゆく／後編(中級・上級者向き)
ゴヨウツツジの七面山トレッキング

古くから信仰の山として知られる七面山。登るなら、一年で最も爽やかなこの季節がお勧めです。ゴヨウツツジやミツバツツジが咲き乱れる山の空気を吸って、身も心もリフレッシュしてください。

集合場所／角瀬トンネル横広場
時間／7:00～16:00
参加費／会員2,000円・非会員2,300円
定員／20名(要申込、締切5月14日、定員に達し次第締切)
持ち物／昼食、飲み物、雨具、登山できる格好で
内容／七面山登山。ゴヨウツツジやミツバツツジの群落を見学。敬慎院で住職の話。
備考／山頂まで4時間ほど登ります。体力に自信のない方はご遠慮ください。雨天中止。

※遠方からお越しの方は、前後泊をお勧めします。昼食、飲み物等はご用意することも可能ですので、お気軽にお問い合わせ下さい。

～申込先～
やまだらけ編集部 ☎0556-45-2160



今回観察したいもの(写真:オオルリ)
ホトトギス、ツツドリ、ジュウイチなどトケン類の鳴き声。オオルリ、キビタキなど夏鳥の姿。運がよければアカショウビンの声も聞けるかもしれません。



野鳥公園主催自然観察シリーズ
夏鳥たちの夜明け

6/4

緑が濃さを増す6月。暖かな陽気に誘われて、南から夏鳥たちがやって来ます。にぎやかになった森の朝は、鳥たちの歌声でいっぱい。早朝の森に出かけ、鳥たちのさえずりに耳を傾けてみましょう。

日時／6月3日(日)午前4時～8時頃
集合場所／野鳥公園駐車場
参加費／大人800円、小人500円
備考／朝食持参。歩きやすい格好で。双眼鏡をお持ちの方はご持参下さい。早朝のため寒いと思われます。暖かい格好でお越しください。
定員／20名(要申込、締切5月28日)

～申込先～
南アルプス野鳥公園 ☎0556-48-2288

ぷりぷりとした歯ごたえがたまらない 早川きのこ園の春シイタケ

肉厚で香りのよい早川のしいたけ。採れたてをすぐ箱に詰めて、みなさんの元へお届けします。シンプルに焼くのもよし、からっと天ぷらにするのもよしです。

料金／1箱3,200円(本体2,500円・送料700円)

内容／1箱1kg

発送／4月中旬以降、注文順に発送。

締切／4月13日(金)



～上記商品に関する注文・お問い合わせ先～

やまだらけ編集部 ☎0556-45-2160 (商品と一緒に請求書をお送りしますので、指定の金融機関へお振り込み下さい。)

ほろ苦い春の味覚 山採れ山菜の詰め合わせ

春を告げる食べ物といえば、そう、ほろ苦くて香り豊かな山菜。一年でこの時期にしか食べられない山菜をぜひ味わっていただきたくて、編集部自ら山に入り採ってきます！

料金／1箱3,000円(本体2,300円・送料700円)

内容／1箱1kg

タラノメ、コゴミ、コシアブラ、ウド、ワラビ、フキ、ゼンマイなどから、その時に採れたもの3～4種類を詰め合わせます。

数量／10箱

発送／4月下旬以降、注文順に発送

締切／4月20日(金)



コシアブラ▲

町のHOT NEWS

ほっとけない登山道 登山道整備ボランティア募集！

南アルプス白根三山の農鳥岳～奈良田間にある山小屋・大門沢小屋からの案内です。一緒に登山道を整備してくれるボランティアを募集しています。たくさんのご応募お待ちしております！

期日／6月25日以降～6月30日までの4、5日間
※雨天の場合は延期有り

人員／男性7名、女性3名(山小屋泊まり出来る方、山好きで健康な方、体力に自信のある方)

食事／食事については当山小屋で負担致します。

内容／橋掛け、草刈、ゴミ拾いなど

決定日／6月中旬

問い合わせ／☎090-7635-4244(大門沢小屋・深沢)

5/3 今年も「山菜祭り」へ行こう！ ～石臼挽き珈琲一杯サービスします～

5月3日、早川町最大のイベント「山菜祭り」が、早川中学校運動場にて開かれます。この祭りのメインは、山菜の直売。地元の山でとれた天然の山菜を各種取り揃えて、お待ちしております。

編集部ブースでは、会員証の提示が「やまだらけを見た」で、恒例の石臼挽き珈琲を1杯サービスします！



よくきてに～ 奈良田の里温泉からのお知らせ

●GWイベント情報

奈良田の里では、今年もゴールデンウィーク中(4月28・29・30日、5月3・4・5・6日)に、ヤマメの塩焼き・手作り蒟蒻・山菜直売コーナーを設置します。

また、5月5日の子どもの日は、小学生入浴無料、小中学生入館料無料(写真館、資料館)になります。なお、5月2日(水)は営業し、5月8・9日が休業となります。

●新メニューのお知らせ

スタッフが捕まえた鹿を使った鹿焼肉定食、鹿肉味噌煮が、この冬からメニューに加わりました。ぜひご賞味下さい。

●サポーターズクラブ会員の皆様へプレゼント

4月14日から5月31日(日)の間に奈良田の里にお越しの方に、奈良田の里「温泉の素・ミニ」(1回分25g)をプレゼント。奈良田の里受付にて、会員証をご提示下さい。

4/7 目指せグランプリ！ 信玄公祭りに酔茶晴組が出場

早川町が誇るダンスチーム酔茶晴組が、今年も信玄公祭り・武田節全国音楽祭フリーバージョンコンテストに出場します。今年は、侍Bowysとのコラボレーションのもと、完全生演奏で「陽光の杜 Disco武田節」を舞います。猛練習の成果を是非ご覧下さい。

日時／4月7日(土) 10時頃～

場所／甲府市舞鶴城公園甲州軍団出陣式特設ステージ

やまめごはん

早川町の男たちにとって、冬の楽しみが狩猟だとすれば、春から秋にかけての楽しみは釣り。3月15日は、待ちに待った早川の漁の解禁日。鉄砲を釣り竿に持ち替えた男たちが、ヤマメやイワナを求めて沢へ入って行きます。

今回ご紹介するのは、そんな時期にふさわしいヤマメを使った「おごっそう」。久田子(くたし)集落の望月恵美さんに教わった、シンプルだけど一口食べれば思わず微笑んでしまう春の味です。

■材料(4人分)

ヤマメ……………中2尾
米……………3合
ニンジン……………大1/2本
昆布……………1枚
塩……………少々
サラダ油……………大さじ1
醤油……………大さじ4

■作り方

- ① 米を研ぎ昆布を乗せ、30分ほど水に浸す。
水は、普通に米を炊く場合と同じ分量。
- ② 腹を取ったヤマメに塩をして炭火で焼き、
焼けたら頭、中骨、尾を取り除き身をほぐす。
- ③ ニンジンを笹がきにし、ほぐしたヤマメの身と一緒に
サラダ油で炒める。途中、醤油を入れ味を付ける。
- ④ 米の上に炒めた具を乗せ、米を炊く。
- ⑤ 炊けたら昆布を取り除き、しゃもじでざっくりと混ぜる。

※ヤマメが手に入らなければ、ニジマスでも出来ます。が、やはりヤマメの方が美味しいです。今回は土鍋で作りましたが、ご家庭の炊飯器でももちろんできます。このレシピは少々薄味です。お好みで醤油を足してください。



おばあちゃんの
試してレシピ⑤



■読者の声

●(前号「山の民と狩猟」は) 実に良く、細かく取材され、何かその現場にいるような感動を覚えました。猟犬との信頼関係、主人の命に従うかしこさ、猟師のチームワーク、どれも早川町の中で育ったもので立派でした。(甲府市、Aさん)

●(前号「山の民と狩猟」は) 内容の充実、観察の鋭敏、輝くような実践の腕の素晴らしさ等、心から感動いたしました。かのし会の皆様によりしくお伝え下さい。(身延町、Iさん)

編集部: すべては、かのし会のみなさんから全面的なご協力を頂いた結果です。編集部の面々も、猟師の格好良さに胸撃ち抜かれ、狩猟免許を取ろうか、なんて話も出ています。

●2007年度、今年こそは早川町を関東及び全国にアピールして欲しいです。対策として、南

アルプス街道を有料化して、広河原から長野県長谷村につながるようにする。東京および関東の長期療養を必要とする方々向けの施設建設などを検討してください。(狛江市、Iさん)

編集部: 活性化のアイデア、ありがとうございます。サポーターズクラブの皆さんと、早川町の活性化について一緒に考える機会を持ちたいとも考えている今日この頃です。

●「奈良田の七不思議」があるやに聞きました。古い古い早川町の知る上でも、関心があります。(匿名希望さん)

編集部: いいタイミングでお便りを頂きました! その「奈良田の七不思議」、なんと次号で特集します。詳細は右の「NEXTやまだらけ」のコーナーをご覧ください。お楽しみに!

■NEXT やまだらけ

23号特集(6月上旬お届け)

奈良田の七不思議
徹底検証!

むかしむかしな～よ～、奈良の都に住んで～と～孝謙天皇さまが、ゆみょう見と～ど～っちえ、夢ん中の翁が「東の国の山奥に諸病に効ある霊泉あり」ちてお告げになつと～ど～で、病んで～と～天皇さま～そりょう頼りにたびよ～して、御勅使川から土ノ小屋峠を越えて奈良田に来とうどうに。そおして八年も暮らして～と～だ。さあ、奈良田の七不思議のはじまりはじまり。

発行元/フィールドミュージアム運営委員会
住所/山梨県南巨摩郡早川町葉袋430 〒409-2727
電話/0556-45-2160 ファクシミリ/0556-45-2268
ホームページ/http://www.town.hayakawa.yamanashi.jp/fm/

山を覗けば宝の山
やまだらけ

昨年から写真を撮りため、例年の開花の時期に合わせて発行する予定で準備を進めてきた。しかしながら、さすがに暖冬でここまで開花が早まるとは予想できなかった。このやまだらけがお手元に届く頃、まだ桜は咲いているか、それが一番の懸念事項である。今年だけといわず、来年、再来年の春もまた、早川の桜をぜひご堪能下さい。